

続 デスキャン隊！ がゆく！

各地でさまざまなイベントを展開し、多くの旅行客を迎えた「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン（DC）」は6月30日に終了しました。DC期間中、たくさんのお客さまと接することで養われた「おもてなしの力」。この成果を8月の仙台七夕まつりや9月の女性会全国大会につなげ、取り組みを継続するために、拡大してお届けした本コーナーは今月で最終回です。

「仙台・街でもてなし隊」で得た喜びと自信が、これからの「おもてなし」の原動力に。

「成果」と「課題」を与えてくれたDC

今回のデスティネーションキャンペーン（DC）をきっかけとして、仙台を訪れた方々に心のこもったおもてなしを実践しようと、商店街や企業の女性を中心として組織された「仙台・街でもてなし隊」（以下、「もてなし隊」）。この隊長を務めた平賀ノブさんに、DCを終えての感想や成果、今後取り組むべき課題などについてお話を伺いました。

「DC期間中、接客時に身につけた『おもてなし缶バッジ』を約25,000個、独自に作成したステッカーを約6,000枚配布する



「仙台・街でもてなし隊」隊長
仙台商工会議所女性会会長
（有ひらが 代表取締役 平賀 ノブさん

ことができず、この数字は、それだけたくさんの方が協力してDCを盛り上げようとした証だと思えますし、行動も伴っていたと思います。次に結びつく課題も見つかり、実り多いキャンペーンだったと思います」と平賀さん。

笑顔あふれるあいさつ、店舗前の清掃活動など、おもてなしの心を表す行動をとることができたこと、そしてたくさんの方々に喜ばれたことは、大きな自信となりました。

市民もお客さまも楽しめる企画を形に

DC期間終了後に開催された仙台七夕まつり、そして「全国商工会議所女性会連合会全国大会」においても、DCで培った「おもてなしの心」が遺憾なく発揮されました。

この全国大会は「ありがとう！明るい未来につなげる絆」をテーマに、震災後の仙台・宮城、東北の今を見てほしいという思いを込め

て、9月5日・6日に開催。全国から当初の予想を大幅に上回る約3,500人が参加し、大いに盛り上がりました。中でも参加者の人気を博したのが「仙台まち散歩」。中心部を3コースに分けて希望者に歩いてもらい、買物をしながらまちの活気や人の元気を肌で感じてもらうという企画です。

「私たちは『もてなし隊』の活動を通して、まちなかだけでなく市民も積極的に参加できるように仕掛けをつくり、その範囲を広げていくことが、仙台はきれいで、いい街だ」とか、「人があったかい」といった仙台の魅力を、より多くの方々に知っていただくことにつながると確信しました。その最初の活動として「仙台まち散歩」を行ったわけです。DCで実践した『もてなし隊』の活動を一過性のものにしたいためにも、私たちを含む市民が、「こんなことをしたら自分たちも楽しいし、きっとお客さまにも喜んでいただだける」というアイデアを形にするお手伝いを仙台商工会議所、そして女性会が担っていかねばならないと



「仙台・街でもてなし隊」結成式。観光事業の垣根を越えて地域一丸となった取り組みとなった。

「思います」と平賀さんは話します。女性会では全国大会開催前に仙台・宮城、そして被災地からは「語り部」の方をお呼びして東北の歴史などを学ぶ勉強会を実施したそうです。DCで得た成果の一つである「聞いて、行動する」を信条に、さらに深みを増した「おもてなし」の表現が形になっているようです。

〈お問い合わせ先〉

仙台商工会議所女性会
仙台市青葉区本町2-16-12
Tel 022-265-8126